

## 新規事業採択時評価結果（令和3年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・技術課

担当課長名：前佛 和秀

### 事業の概要

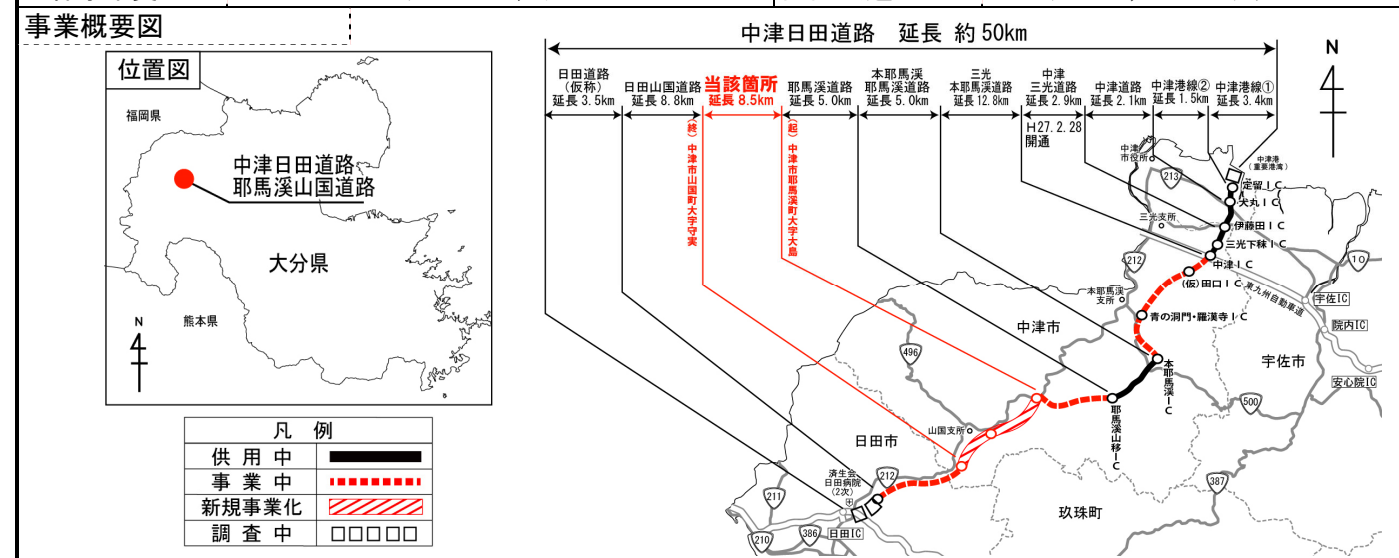
<b>事業名</b>	地域高規格道路 中津日田道路 一般国道212号 耶馬溪山国道路	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	大分県
<b>起終点</b>	自：大分県中津市耶馬溪町大島 至：大分県中津市山国町守実	<b>延長</b>	8.5 km		

**事業概要**  
中津日田道路は、周防灘地方生活圏と日田玖珠地方生活圏の連携強化及び、大分自動車道、東九州道及び重点港湾中津港との連絡性の強化に資する約50kmの地域高規格道路である。

耶馬溪山国道路は、災害・事故による全面通行止め箇所、冬期の凍結多発区間、道路防災点検要対策箇所及び線形不良箇所を回避することにより、安全かつ円滑な交通を確保するとともに、生活圏の連携強化、大分自動車道、東九州道及び重点港湾中津港へのアクセス強化による産業の活性化を目的とした道路である。

- 事業の目的、必要性**  
耶馬溪山国道路は、
- ・ 自然災害や冬期における事故等の通行障害を回避する代替ネットワークの確保
  - ・ 北部九州に集積する自動車産業をはじめとする産業・物流の支援強化
  - ・ 耶馬溪・山国地域における広域救急医療体制の強化
  - ・ 日田や耶馬溪を周遊する広域観光ルートの形成によるツーリズムの推進に資する道路である。

**全体事業費** 約458億円      **計画交通量** 約11,700台/日



**関係する地方公共団体等の意見**  
中津日田間地域高規格道路促進期成会（会長：中津市長）が組織され、自治体をはじめとする地域全体での早期整備に向けての要望・期待が大きい。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**  
令和2年11月に大分県公共事業評価委員会から事業実施が妥当であることの答申を得ている。

**事業採択の前提条件**  
費用対便益：便益が費用を上回っている。  
地域の団体や沿線自治体からの早期整備の要望を受けており、円滑な事業執行の環境が整っている。

### 事業評価結果

<b>費用対便益</b>	<b>B/C</b>	1.9	<b>総費用</b> 338億円 （事業費：328億円 維持管理費：9.7億円）	<b>総便益</b> 629億円 （走行時間短縮便益：554億円 走行費用減少便益：50億円 交通事故減少便益：25億円）	<b>基準年</b> 令和2年	
	<b>感度分析の結果</b>	交通量変動	B/C=1.7 (交通量 -10%)	B/C=2.1 (交通量 10%)		
		事業費変動	B/C=2.1 (事業費 -10%)	B/C=1.7 (事業費 10%)		
	事業期間変動	B/C=2.0 (事業期間 -20%)	B/C=1.7 (事業期間 20%)			
<b>事業の影響</b>	<b>評価項目</b>		<b>評価</b>	<b>根拠</b>		
	<b>自動車や歩行者への影響</b>	渋滞対策	—	注目すべき影響はない。		
		事故対策	○	現道交通の転換により、通過交通が排除され、事故件数の減少が見込まれる。道路線形不良5箇所、死亡・重大事故につながる「正面衝突」の割合が高い。道路線形不良に加えて、冬期には積雪・凍結による交通事故が発生。		
		歩行空間	—	注目すべき影響はない。		
	<b>社会全体への影響</b>	住民生活	◎	高次救急医療施設へのアクセス向上が図られ、地域住民の生活環境が改善する。（中津市山国町～中津市民病院(2次救急医療施設) 54分⇒37分）		
		地域経済	◎	自動車産業関連の輸送時間が、年間約1.4万時間短縮され、中津市～日田市間における地域産業の物流の効率化や輸送コストの削減が図られる。		
		災害	◎	緊急輸送道路（1次ルート）の機能強化が図られる。災害時の代替路が確保され、緊急輸送路の機能強化が図られる。		
環境		○	国道212号のCO <sub>2</sub> 排出量が、2,103 t-CO <sub>2</sub> /年削減される。通過交通の排除により、現道における沿道環境の改善が図られる。			
	地域社会	○	生活中心都市～旧市町村間を結ぶ幹線道路として、日常生活や買物等の地域連携に寄与する。（旧耶馬溪町～日田市 41分⇒32分）交流人口の拡大による観光産業の促進が期待できる。			
<b>事業実施環境</b>		◎	中津日田間地域高規格道路促進期成会が組織され、地元主催の市民総決起大会(R2.8)や中津日田道路シンポジウムweb版(R2.9～R3.2)の開催により、事業に対する気運が高まっている。環境影響評価を実施(R2.4.1)。			

### 採択の理由

事業主体である大分県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.9と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。

また、緊急輸送道路の機能強化、自動車産業をはじめとした地域産業の物流の効率化、高次医療施設へのアクセス向上が図られるなど、当該事業の整備の必要性、効果は高いものと判断される。以上により、本事業を令和3年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。